



エコ・ファーストの約束 ～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 中川 雅治 殿

平成30年8月7日

アスクル株式会社

代表取締役社長 兼 CEO 岩田 彰一郎

アスクル株式会社は、「お客様のために進化する」という企業理念のもと、持続可能な社会の実現に向け、お客様、社会、地球環境にとって、「最適」で「ローコスト」な「エコプラットフォーム」を構築していきます。原材料調達からお客様への商品のお届けまでサプライチェーン全体でのCO2削減を目指す「2030年CO2ゼロチャレンジ」に向け、新たな技術・イノベーションの力を推進力として、以下の各取り組みを推進してまいります。

1. 脱炭素社会の実現による地球温暖化防止に向けた取り組みを積極的に推進します。

- 2030年度までに「CO2排出量ゼロ」にチャレンジします。
- 2020年度までにオーダー1明細行当たりCO2排出量20%削減（2013年度比）を達成します。

○輸配送面での取り組みを通じたCO2削減

- ・配送における物流拠点の最適配置、AIの導入・活用を通じた配送経路最適化の取り組み
- ・サプライヤーとの連携による商品調達における排出量データ把握、積載率向上や輸送回数の削減、モーダルシフトや調達ルートの改善などを通じた物流の効率化
- ・お客様への商品お届け時の配送車両における電気自動車等の導入・拡大、「エコ配」（自転車での配送）の拡大
- ・お客様への商品お届け時に小刻みな時間指定ができる「Happy On Time」サービスによる再配送の削減
- ・お客様への定期配送サービスの提供と拡大による物流効率の向上
- ・ラストワンマイルに使用する車両の電気自動車への更新
- ・英 The Climate Group の主催する EV100*に加盟（EV100 は、Electric Vehicles 100%）

○電力・エネルギー面の取り組みを通じたCO2削減

- ・物流センターにおける太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの活用推進
- ・物流センターにおける照明のLED化やエネルギー監視システムによるデータ把握を通じた電力消費量削減
- ・物流センターにおけるロボットの活用による稼働効率の向上
- ・英 The Climate Group の主催する RE100*に加盟（RE100 は、Renewable Energy 100%）

2. 循環型社会の実現・形成に向けた取り組みを積極的に推進します。

- 2020年度までにオーダー1明細行あたりの資源消費量20%削減（2013年度比）を達成します。

○サプライヤーとの取り組みを通じた自社およびお客様における資源消費量の削減

- ・商品調達時の梱包資材の削減や納品形態の改善（ユニットロード、シートパレットの活用など）、商品の包装材料の削減

○販売、配送における資源消費量の削減

- ・お客様への商品お届け時における、省資源梱包・レジ袋等の簡易梱包の促進、通い箱による「ECO-TURN（エコターン）配送」の活用、梱包資材のリユース
- ・ウェブサイトや電子メディア化へのシフトを通じた、カタログなど紙資源消費量の削減





○排出物・廃棄物の削減、回収サービスの構築・推進を通じた資源消費量の削減

- ・事業所における「ゼロエミッション」(再資源化率 99%) の達成・維持
- ・食品の期限管理の徹底による食品廃棄の削減
- ・アウトレット商品や機動的な販促活動を通じたメーカーおよび自社における商品廃棄の削減
- ・返品商品の再生販売、NPO 等への寄贈・有効活用による商品廃棄の削減
- ・物流センターで廃棄する木製パレットの再資源化
- ・お客様における、トナー、インクカートリッジ、ラベルライターテープ、その他の各種使用済み商品や関連資材の回収サービスの継続・拡大・推進

3. 自然との共生の実現に向けた取り組みを積極的に推進します。

■森林保全のための植林、自然林の修復に関する取り組みの推進

- ・コピー用紙の持続的調達のためにインドネシアでの産業植林を確認する「1 box 2 trees」活動の継続・推進
- ・インドネシアにおける森林再生および地域との共生を図る取り組みである「20ha Project」の継続・推進
- ・ベトナムにおける地域住民の森林に依存しない代替生計手段の提供と森林再生に関する取り組みの推進
- ・物流センター等各拠点における緑化・自然保護活動の展開
- ・本社オフィスでの間伐材の使用

■環境配慮型商品の企画・販売の推進

- ・FSC・PEFC などの森林認証商品の取り扱い拡大とお客様への情報提供・購入支援
- ・グリーン購入法適合商品、エコマーク商品、エコ商品ねっと掲載商品等のグリーン商品の取り扱いの拡大とお客様への情報提供・購入支援
- ・アスクルオリジナル商品における環境配慮型商品の企画・販売の推進

4. 様々なステークホルダーとともに、環境への取り組みを推進してまいります。

■お客様をはじめとした各ステークホルダーとの環境コミュニケーションおよび各取り組みの推進

- ・環境情報の見える化を通じた、お客様に環境負荷の少ない購買システムの提供
- ・ウェブサイト、カタログ・その他の媒体を通じた、安心・安全、環境に関連する情報の積極的提供、サステナブルな暮らしに対するご提案・啓発活動
- ・「環境フォーラム」をはじめとした各種イベントを通じた、お客様・企業・NPO・行政などとの連携・協力による気候変動・地球温暖化対策、脱炭素社会の実現に関する情報発信と取り組みの推進

■スタッフ・従業員への環境教育

- ・社内での環境教育の継続的推進、社会課題の解決のための人材育成の推進
- ・環境社会検定試験 (eco 検定) ほか、環境・社会課題解決に関連する資格の取得推進

アスクル株式会社は、上記取り組みの進捗状況について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

